

センター企画講座

高岡の女性史から学ぼう

企画・実施協力：NPO法人プロジェクトひと・みち・まち

第1回 3/8 (土) 14:00~

テーマ 高岡市男女平等推進プラン情報誌「ありて(セピア色の写真から)」に載った女性たち

さまざまな分野で活動した高岡ゆかりの女性を紹介する「ありて(セピア色の写真から)」に掲載した34人の先輩女性について学びました。第8号掲載の金田澄子さんにお越しいただき、当時の話をうかがいました。そして、感じたこと、考えたことを話し合い、自分の生き方を考えました。



【感想】

- 年齢に関係なく、やりたいと思ったことは実現したい。
- 女性の活躍はいつの時代もある。
- 建物がたつということは、強い思い、努力があつてこそ。
- 地域の歴史を知ること、すでにある財産を頂くこと。

第2回 3/19 (水) 14:00~

テーマ 自分の今、生き方を見つめる一女性史の視点一
講演 「かけがえのない個としての生き方を求めて」
講師 加納 実紀代さん(女性史研究者)



明治維新以後、つくられていく性的役割分担について、戦争という時代背景での女性の生き方とおして、学びました。
民法の改正の意義や、個人の尊重を掲げる憲法のとらえ方などにも深く認識を深め、これからの自分の生き方を考えました。

【感想】

- 明治時代前のほうが、男女の関係に自由さがあつたことに驚いた。
- 明治維新が今の社会の基礎を作ったことがよくわかった。
- 「母性」がつけられたのは戦争に向かうための思想の1つだったことを改めて深く感じた。
- 憲法改正案による家制度重視の方向性を注視したい。

ケアラーズ交流会 in 高岡

2/20 (木) 会場：コミュニティハウス「ひとのま」
18:00~ 主催：ケアラーズ交流会 in 高岡実行委員会
共催：高岡市

「なぜ、今、ヤングケアラー支援が必要なのか一当事者の語りを中心に社会は支援のあり方を検討する一」

病気や障がいのある家族を支える子どもや若者「ヤングケアラー」の支援を考える交流会が、開催されました。



イギリスからヤングケアラー支援者ヘレン・リードピターさん(イギリス子ども協会包摂プロジェクト副委員長)と、ヤングケアラー研究者渋谷智子講師(成蹊大学)を招き、県内外のケアラーや福祉関係者たちが、子どもや若者を含むケアラー同士が支えあえる社会を目指して、語り合い、親睦を深めました。

※ケアラーとは、性別、年齢、国籍問わず、疾病や障害をもつ家族、友人、知人を無償でケアする人のことです。

～粋メンプロジェクト～

2/11 (水) 男性のための料理教室(国吉地区)
10:00~ 主催：男性介護者の会みやび、
粋メンプロジェクトチーム、高岡市

家族が病気やけがをしたら、ひとり暮らしになったら…食事のしたくてできますか？

男性介護者の会みやび(男女平等推進センター登録活動団体)と共に、男性のための料理教室を開催しました。子育てや孫育てをしている男性、一人暮らしの男性、親や妻など家族の介護をしている男性等が、世代を超えて調理や介護、支えあうこと等について学びました。



【内容】

- ◆国吉・五位地域包括支援センター、男女平等推進センターの役割と活動
- ◆調理実習 指導：国吉地区食生活改善推進員(献立：さばの味噌煮、ほうれん草としらすのナムル、味噌汁、デザート)
- ◆話しあい

男女平等推進プラン情報誌「ありて」第13号 を発行しました

男女平等・共同参画社会の実現をめざし、様々な情報を発信する男女平等推進プラン情報誌「ありて」13号を発行しました。企画・編集は、公募による市民編集員とセンター職員が行っています。



内容

- ◆特集「だれもがいきいきと暮らせる地域社会をみんなでつくろう！」
 - これからどうする？わたしたちの男女平等・共同参画
 - 地域活動に参画する
 - リーダーになってみる
 - 女性の力が企業を変える
- ◆イクジイを楽しむ
- ◆高岡市の取り組み～DV 対策～
- ◆セピア色の写真から 澤田 はつ子さん「近代女性俳人の先駆者～明治俳壇を駆け抜けて～」
- ◆センター活動登録団体の紹介 高岡くらしの会 とやま cocolo 会

編集員の金森美世さん、松林郁夫さん、山本和代さん、ありがとうございました。次号から新たな編集員メンバーでお届けします。



富山県男女共同参画推進員高岡ブロック研修会開催

2月23日(日)に、高岡市生涯学習センター4階ホールにて、平成25年度富山県男女共同参画推進員地域別研修会(高岡ブロック)が開催され、高岡市、射水市、氷見市の推進員が参加しました。高岡連絡会の推進員による寸劇『女子高生の会話より～デートDV編～』では、デートDVとはどのようなものか、また、「自分も大切、相手も大切、I am OK, You are OK」を若い世代へ伝えようと呼び掛けました。

講演では、宮田隼さん(コミュニティハウスひとのま共同代表)を講師に迎え、『「コミュニティハウス」の実践からみえてくるもの』と題し、「コミュニティハウスひとのま」の設立までの経緯や活動について話されました。さらに、DV被害者へのインタビューという形でDVの実態を学び、間違った「当たり前」をなくすことが真の男女共同参画だと理解を深めました。



男女平等推進センター日誌抄 2/3

- 2月19日(水) 男女平等推進プラン情報誌「ありて」第10回編集会議
- 21日(金) 市民企画講座 ファシリテーション基礎講座フォローアップ講座【企画：ふあん・ふあしい・CAFÉ】
- 23日(日) 富山県男女共同参画推進員高岡ブロック研修会 講演 宮田隼さん
- 28日(金) 話スペース「ほこ あ ほこ」誰でも安心して話ができる場

- 3月6日(木) 相談室と支援グループ等との懇談会
- 8日(土) センター企画講座「高岡の女性史から学ぼう」【第1回】情報誌ありて(セピア色の写真から)に載った女性たち
- 19日(水) 「高岡の女性史から学ぼう」【第2回】自分の今、生き方を見つめる一女性史の視点一 講演 加納実紀代さん(女性史研究者)
- 28日(金) 話スペース「ほこ あ ほこ」

～高岡市は男女平等・共同参画宣言都市です。

「認め合い 支えあい 共に輝く ひと みち まち」をみんなで目指しましょう。～

